

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	中3	美術	⑨中学校指導案（図画工作・美術科）.pdf	授業構想力	○制作の手順をタブレットで確かめながら主体的に制作に取り組むことができていた。	資料として制作のポイントを写真で説明するスライドを配付し、生徒がいつでも見ることができるよう準備した。
R4	中3	美術	⑨中学校指導案（図画工作・美術科）.pdf	授業構想力	●限られた素材の中でつくすることで、制作が制限されてしまう。	限られた素材で計画的に制作する力をつけたいと考えたが、生徒のアイデアを形にするための手立てを考えることも必要であった。
R4	中3	美術	⑨中学校指導案（図画工作・美術科）.pdf	授業構想力	○素材の扱い方がスムーズで、主体的に制作に取り組むことができていた。	指導計画の中で素材の扱い方を練習する時間を確保し、制作に生かせるようにした。
R4	中3	美術	⑨中学校指導案（図画工作・美術科）.pdf	授業構想力	○自分がつくりたい形のイメージを明確にもって制作に臨んでいる姿が見られた。	ワークシートに作品を置く場所、目的、そのためにどのような工夫ができるかについて考える項目を設定した。
R4	複低	図工	⑩小学校指導案（図画工作・美術科）.pdf	授業構想力	○目の見えな方に伝わるように、「知っているような言葉にして話した」、「ここ・これ（指示語）等を使わなくても伝えやすいように、手をもって場所を教えた」と、工夫したことを挙げていた。	先天盲の方と絵画鑑賞を楽しむために、慣れ親しんできた見方を変えてみようとして試行錯誤することができた環境を設定した。
R4	複低	図工	⑩小学校指導案（図画工作・美術科）.pdf	授業構想力	●「楽しい感じ」「（雨が）ポツポツ（降っている）」「暗い倉庫みたい」「明るい色」という言葉が少し聞こえた他は、具体的なモチーフや色名で対話する児童がほとんどであった。見えていない相手に対して視覚以外の手段で伝え合うという割り切れるものではなかったが、互いのこれまでの経験や概念としての知識で語り合える部分は視覚も含めた言葉でやり取りを重ね、何とかして伝えようとする姿が多く見られた。 ○参観者の見取りの中に、「子どもたちとゲストの相互のやり取りが印象的だった。初めは、子どもが一方向的に伝えていたが、浮世絵を見て子どもが「昔っばい」と発言した時、ゲストが「どうしてそう思ったの？」から学びが深まっているような気がした」という言葉があった。	視覚以外の多様な感覚を研ぎ澄ませ、相手に伝えるように言語化する過程を通して、造形的な思考を深めることをめざした。
R5	小6	図工	日 時 平成25年11月30日（土）	授業構想力	○個々がタブレットのアプリ（i-movie）を自由に使って自分なりのbeautiful&emotionalを求めて試行錯誤を繰り返すことができていた。	十分に試行錯誤できるような学習環境の整備と時間の保障に努める。
R5	小6	図工	日 時 平成25年11月30日（土）	授業構想力	○児童が自分に関する作品を作りたいという意識を持って表現していた。主体的な表現活動は、授業後も続いていた。	児童がそれぞれ自分なりの見方や感じ方、感覚や感性を存分にはたらかせながら主体的、追求的に取り組むことのできる目標設定をする。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○生徒がタブレットの扱いに慣れており、班で助け合うことで方法を見つけていった。	トリミングなど難しい操作もあったが、間違ってもすぐやり直せる環境がつけられていた。最初からグループの形にして交流しながら形のつながりを考えることができていた。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	●文様に具体物が多かった。	より抽象的な形にした方がリピテーションなどの美しさに気付けたかもしれない。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○何をするのかわかりやすく安心して活動できていた。	授業の初めの段階で流れを黒板に示していた。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○生徒がクリエイティブかつ主体的に活動していた。	生徒が自分の得意なことや好きなことにかかわるものを基につくる題材を設定することで、主体的に学習に取り組めるようにした。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○全員に共通理解が生まれ子供たちが次にすることを意識して授業を受けていた。	最初にスクリーンで参考作品を示した。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	●タブレットの扱いで困っている生徒も見受けられた。	トリミングのマーク、スライドのファイル名など、細かく指示することでタブレット操作でつまずく可能性を減らしている。 手元の操作も映せたらなおわかりやすい。

R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○「自分が不器用すぎる」と言っていた生徒が思ったように並べることができ始めると「きたきた、これがしたかった」と言っていた。 ○「失敗したから嫌だ」と言っていた生徒が絵を回転させて並べて自分の絵の良さに気付く新たな価値を生み出していた。	タブレットを用いて組み替えを行うことで、形を組み合わせたときのつなぎ方の工夫を試行錯誤しながら考えることができるようにした。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	●描いた作品つながらとところが少ないものと同じ向きに並べるだけになっている人が多かったように見えた。	アイデアスケッチのときにつなげることを意識してつくる視点を提示する。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○参考作品の単位形の4パターンを見た時に「すごい！」と言っており、見え方が変化して新たな視点を持つことができていた。	文様の方向や並べ方で見え方が変わること気付けるよう、参考作品を使って比べられるようにした。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○絵のようなデザインをしていた子が友達と交流することで自分のデザインを再考している姿が見られた。	グループ交流の前に「形のつながりが文様の中にあるか」という見る視点を提示している。
R6	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○試行錯誤を繰り返し、個々の表現を楽しんでいた。	粘土の量や道具の種類を工夫して準備し、生徒がさまざまな方法を試せるような環境をつくった。
R6	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○ロイロノートに次の時間のめあてを書いておくことで見通しがもてていた。	授業の初めに生徒が自分の目標を明確にして制作に取り組めるよう、ロイロノートの項目や授業の組み立てを工夫した。
R6	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○ロイロノートの使い方に慣れていた。	ポートフォリオとして毎時間記録を残し、生徒が自分の制作過程を振り返ることができるようにした。
R6	複低	図工	07_1_図画工 作科学習指導 案.pdf	授業構想力	○興味深い実践になったようである。	ゲストティーチャーを招聘した。
R4	中3	美術	⑨中学校指導 案（図画工 作・美術 科）.pdf	授業実践力	●アイデアスケッチを立体化することにつまずく様子があった。	自ら計画を立てて制作を進める力をつけるためにアイデアスケッチを取り入れた。また、アイデアスケッチから制作方法を提案する手立てをとった。
R5	小6	図工	日 時 平成25 年11月30日 (土)	授業実践力	○タブレットを用いた児童の活動が主体的に展開されたため、俯瞰して机間指導を行うことが容易であった。技能や操作方法ではなく、表現の質に焦点化して助言することができた。	児童の多様性を温かく共感的に受け止め、価値付けるとともに、個々の思いの具現化のために必要に応じて適切な支援や働きかけを行う。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業実践力	●操作することに夢中（ならべること）でいろいろな並べるパターンを考える時間が足りなかった	制作時間の確保、時間への意識付けを行う。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業実践力	○生徒がしっかり考えて構想していた。早く進んでいる生徒も静かに待ったり教え合ったりして安心して感ある穏やかな時間を過ごしていた。	教師の指示の言葉が少なかった。生徒と先生の信頼関係ができていた。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業実践力	●タブレットを用いて並べる方法は途中経過がなくなってしまうもったいなささもあったと感じた。	スライドを残すので試行錯誤の過程を残すことはできるが、消してしまう生徒もいるため、途中経過を写真で残すなどの呼びかけを適宜行う。
R5	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業実践力	●タブレットに慣れているかは個人差が大きい。 ●操作が難しい場面もあり進度がバラバラになり指示が通りにくくなってしまう。	個への対応と全体への抑えのバランスを考える必要がある。
R6	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業実践力	●造形感覚を深めるための気づきが書かれていない生徒がいた。	「できた」にとどまってしまう生徒への手立てとして、本時の目標に戻って話をしたり、視点を提示したりすることを今後重点的に行う必要がある。
R6	複低	図工	07_1_図画工 作科学習指導 案.pdf	授業実践力	○子どもたちの発想が引き出されていた。	試行錯誤を促す道具や材料の準備・環境設定をした。
R6	複低	図工	07_1_図画工 作科学習指導 案.pdf	授業実践力	●聴覚と触覚を研ぎ澄ませる実践であったが、「集中」への意識が高められなかったため、「見えないところ」への意識が薄くなってしまった。	ゲストティーチャーと子どもが接近する場所にいる環境下で音楽を流せば、吐息や服の衣擦れの音などに耳を澄ませるような集中力をもって、見えないところへの意識を高められたという反省を得た。
R6	複低	図工	07_1_図画工 作科学習指導 案.pdf	授業実践力	○和気藹々と協力し、よく吹きながら制作に取り組んでいた。	活動に集中させたり気付かせたりする言葉がけの工夫をした。

R4	中3	美術	⑩中学校指導案(図画工作・美術科)_.pdf	授業分析・評価力	○作品の写真と制作の工夫点を記録し、自分の作品のよさや仲間の作品のよさを振り返ることができていた。	タブレットを用いて制作の過程を振り返ることができるように指導した。
R4	複低	図工	⑩小学校指導案(図画工作・美術科)_.pdf	授業分析・評価力	○中盤の振り返りで「ゲストにいろいろなことを教えてあげたい」と書いていた児童が、次の学習の振り返りで「ゲストからヒントを教えてもらいながらできた」と書いていた。「(目の見えない人に) 教えてあげる」から「(目に見えない人から) 教えてもらう」に意識が変わっていることが見取れた。 ○「どうして昔の絵に見えるの?」と聞かれ「昔の紙の傘をさしている人がいるからです」と答えたら、ゲストの方が納得してくれました」という振り返りから、見える人・見えない人の、みんなで絵画を鑑賞することを通して、これまでではどうつながり合えばよいか分からなかった他者とつながり合えた良さを実感する姿を見取れた。	アートを通して、今まで知らなかったことに気付くことで、新たな自分を探そうとする児童に育てて生きたいという願いのもと、学習過程に沿った1枚ポートフォリオを作成して児童に配り毎時間の振り返りを行えるようにした。
R5	小6	図工	日 時 平成25年11月30日(土)	授業分析・評価力	○「美しさ」「感動」という動画作成のポイントを示したことは意図的な表現活動につながった。 ●動画作成に向けてのビジョンや振り返りを言語化することは不十分であった。困難であったか、あるいはそこに興味関心が向いていなかったのか。	振り返りのための振り返りではなく、学習過程の中に自然に位置付いた振り返りの方法と場を工夫する。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	○アイデアスケッチの段階で教師が指導して気付くのではなく実際に連続させてみてから気付くという仕掛けが功を奏するという姿が見られた。	ワークシートに書かれた思いを参考にしながら生徒が表したい内容をよりよく見せるためのアドバイスをした。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	○生徒の言葉から次時の課題が出ていた。	アプリを使って自己評価することでポートフォリオとして活用している。